

# 2025年度 日商簿記検定試験受験要項

主催 日本商工会議所・加古川商工会議所

## 日 程

登録番号 T5140005009365

回	試 験 日	申込受付期間 (窓口：水・木・金曜日のみ)		合格発表日 【合格証書交付開始日】
		ネット	窓 口	
170	2025年 6月 8日 (日)	ネット	4/22 (火) ~ 5/ 8 (木)	6/23 (月)
		窓 口	5/ 7 (水) ~ 5/ 9 (金)	【 7/14 (月) 】
171	2025年 11月 16日 (日)	ネット	9/30 (火) ~ 10/16 (木)	12/1 (月)
		窓 口	10/15 (水) ~ 10/17 (金)	【12/15 (月) 】
172	2026年 2月 22日 (日)	ネット	1/ 6 (火) ~ 1/22 (木)	3/9 (月)
		窓 口	1/21 (水) ~ 1/23 (金)	【 3/23 (月) 】

【1級の合格発表日】 第170回…7/28(月) 第171回…1/5(月) ※第172回は施行無し

【1級の合格証書交付日】 第170回…8/12(火)~ 第171回…1/26(月)~ ※第172回は施行無し

### 窓口申込手続き (受験料は試験中止の場合の他は返却いたしません。)

- ・ 所定の申込用紙に受験料 (釣り銭のないよう) を添えて、本所へ提出し、受験票を受け取ってください。
- ・ 申込書への記入は、原則として受験者本人の自筆とします。
- ・ 試験当日には必ず氏名・生年月日・顔写真のいずれも確認できる写真付身分証明書を持参してください。写真付身分証明書をお持ちでない方は、受付時にお申し出ください。
- ・ 郵送、電話、FAXによる申し込みは、一切受け付けておりません。

### インターネット申込手続き (受験料は試験中止の場合の他は返却いたしません。)

- ※ホームページのインターネット申込フォームのボタンをクリックし、注意事項等をお読みいただき、手順に従ってお申し込みください。
- ・ インターネット申込の場合はネット申込手数料として別途 **680円 (税込)** が必要です。  
(10%対象 680円 内消費税61円)

(ネット申込手数料はいかなる場合も返却致しません)

- ・ インターネット申込をされた方のみ「採点結果照会機能」をご利用いただけます。  
(ホームページから合格発表日を含めて60日間、合否結果や点数をご確認いただけるサービスです。)
- 申込時に、照会番号 (任意の4桁の数字) をご登録ください。
- ※スマートフォンからのお申し込みの場合…QRコードはこちら→



### 申込受付場所および受付時間

窓 口…本所 9:00~17:00 (水・木・金曜日のみ)

※申込受付期間および受付時間にご注意ください。(期間外、時間外での受付はできません。)

ネット…申込受付期間最終日の23:59まで

受験料 (税込) 1級: 8,800円 2級: 5,500円 3級: 3,300円

( 10%対象 1級: 8,800円 2級: 5,500円 3級: 3,300円 )  
内消費税 1級: 800円 2級: 500円 3級: 300円 )

定 員 (定員になり次第、締め切ります。)

【1級】30名 【2級】100名 【3級】100名

試験会場 加古川商工会議所 (予定) ※受験人数によって会場が変更になることがあります。

試験開始時間 【1・3級】9:00 【2級】13:30

### 合格発表

本所掲示板およびホームページ(<https://www.kakogawa-cci.or.jp>)において合格者番号のみを発表します。

採点結果をお知りになりたい方は、当所3階事務所へ業務時間内(平日8:30~17:30)にお越しください。

ただし、インターネット申込をされた方のみホームページから採点結果をご確認いただけます。

また、以下の点にもご注意ください。

- ・ 電話による合否・採点結果の問合せにはお答えできません。
- ・ 合否判定に関する異議は認めません。
- ・ 答案および解答は、いかなる場合であっても返却・公表いたしません。

## 合格基準

試験の採点は、各級とも100点満点とし、70点をもって合格とします。ただし、1級に限り、1科目ごとの得点が40%に満たないものは70点以上であっても不合格とします。

## 合格証書交付

本所にて受験票と引き換えに交付します。合格証書の氏名は、コンピュータ処理で印刷するため、JIS規格第2水準の範囲で記載しますので、あらかじめご了承ください。

・合格証書の保存期間は、試験日から1年間（試験日を1日目とします）です。保存期間を経過した場合は、合格証明書の発行（有料）に代えさせていただきます。合格された方は、お早めにお受け取りください。

## 試験科目および程度《筆記試験》

級	科目・試験時間	程度・能力・人物像
1	商業簿記・会計学 (試験時間：90分) 工業簿記・原価計算 (試験時間：90分) 【※途中、休憩あり】	極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析を行うために求められるレベル。企業においてプロジェクトリーダーを担うケースもある。また、公認会計士や税理士などの国家資格への登竜門。
2	商業簿記・工業簿記 (原価計算を含む) (試験時間：90分) ・5題以内	経営管理に役立つ知識として、企業から最も求められるレベル。 高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を行うために求められる。 推薦入試の基準としている大学も多数あり。
3	商業簿記 (試験時間：60分) ・3題以内	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが一般常識として身につけておくべき「必須の基本知識」。多くの企業から評価される資格。 基本的な商業簿記を修得し、小規模企業における企業活動や会計実務を踏まえ、経理関連書類の適切な処理を行うために求められるレベル。

## 受験者への注意事項

○受験時間を間違えないようにし、試験開始より早めに入場し、少なくとも10分前には受験票と写真付身分証明書を机に出して、受験票と同じ番号の席に着いて下さい。**時間厳守**

○受験時に持参するもの

①**受験票（必ず持参して下さい。）**

②**写真付身分証明書（必ず持参して下さい。）**

（運転免許証・パスポート・住民基本台帳カード・社員証・学生証・マイナンバーカードなど）

③**筆記用具（当日忘れても貸借はできません。）**

使用できる筆記用具…黒鉛筆・シャープペンシル・消しゴムのみ

④**計算用具（当日忘れても貸借はできません。）**

印刷（出力）機能、メロディー（音の出る）機能、プログラム機能（例：関数電卓等の多機能な電卓、売価計算・原価計算等の公式の記憶機能がある電卓）、辞書機能（文字入力を含む）、通信機能があるものは持ち込みできません。

○**試験開始後30分間と試験終了前10分間は退出できません。**

○会場内は禁煙です。

○**試験場では全て試験委員の指示に従ってください。**指示に従わない者および不正行為を行った者は、退場していただきます。

○携帯電話を時計代わりに使用することは認めません。

**試験中は携帯電話等、外部と通信可能なモバイル機器の電源は切ってカバンにしまってください。**

呼び出し音が鳴ったり、使用した場合、試験問題の漏洩とみなし退場していただきます。

○駐車場に限りがありますので、車での来場はできるだけご遠慮願います。

○試験会場内外での車の事故ならびに保管責任は一切負いかねますので、十分注意してください。

○**受験票裏面記載の「受験に関する同意事項」をよくお読みください。**

○台風や大雪等における検定試験の施行・中止判断については、ホームページの「資格試験」のページをご覧ください。

※日商簿記の最新情報は、WEBで

日商簿記

検索

《ネット試験》の受験申込方法等は、下記試験施行機関へお問い合わせください。

試験施行機関：加古川商工会議所パソコン教室（TEL079-490-5223）  
加古川経理専門学院（TEL079-423-4915）

## 《ネット試験》

級	受験料	試験時間	程度・能力・人物像
2級	5,500円	商業簿記・工業簿記 (原価計算を含む) (試験時間：90分) ・5題以内	経営管理に役立つ知識として、企業から最も求められるレベル。 高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を行うために求められる。 推薦入試の基準としている大学も多数あり。
3級	3,300円	商業簿記 (試験時間：60分) ・3題以内	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが一般常識として身につけておくべき「必須の基本知識」。多くの企業から評価される資格。 基本的な商業簿記を修得し、小規模企業における企業活動や会計実務を踏まえ、経理関連書類の適切な処理を行うために求められるレベル。
初級	2,200円	商業簿記 (試験時間：40分) ・4題以内	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが日常業務をこなすための基礎知識。 簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、業務に活用することができるレベル。
原価計算初級	2,200円	原価計算 (試験時間：40分) ・4題以内	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが事業の収益性を把握するための基礎知識。 原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解し、業務に活用することができるレベル。